

# 広報 a public relations magazine

# あぐい



阿久比町  
マスコットキャラクター **アグピー**

1 January  
1月1日号

暮らしの情報誌

2012

No. 1045

毎月1日・15日発行

主な内容

- ②～③ 新年のごあいさつ  
阿久比町長と阿久比町議会議長から新年のごあいさつです。
- ④ 新成人に聞きました  
成人式を前に「新成人の集い」実行委員会のメンバーに聞きました。
- ⑤ 愛知駅伝5位入賞  
町村の部で昨年よりも1つ順位を上げました。4年連続入賞となります。
- ⑧～⑨ 2011年まちの出来事  
阿久比町の1年間を振り返ります。

## 謹賀新年



“大空高く舞い上げれ”

1月8日に開催される「第26回阿久比町凧あげ大会」。阿久比地区では、大凧に2012年の干支「辰（竜）」を描きました。制作した大字役員と子ども会の皆さんは、大空高く舞い上がり天かける龍となるのを楽しみにしていました。

# 新年のごあいさつ



阿久比町長  
舟内啓二

新年明けましておめでとござい  
ます。  
皆さまにおかれましては、輝かし  
い新春をお迎えになられたことお  
慶び申し上げます。

## 暁鐘

今年の題字は「暁鐘（ぎょうしよ  
う）」といたしました。夜明けに鳴ら  
す鐘という意味です。

昨年は東日本大震災が我が国を襲  
い、私たちを心の底から震撼させま  
した。被害も未曾有のもので、お亡  
くなりになった方の霊も生存者も、  
帰る我が家を無くし、故郷さえも失

われてしまいました。この悲しい出  
来事を思うと、今年も新年をいつも  
のようにお祝いすることもはばかれ  
る気がいたします。被災者の皆さま  
のご冥福をお祈りするとともに、お  
見舞い申し上げます。

太陽は必ず東から昇り朝を迎えま  
す。私たちは、今こそ夜明けを告げ  
る鐘を力強く鳴らす時だと思いま  
す。その思いを込めて、「暁鐘」とした  
めました。

## 二〇二二年は「辰年」

今年の干支は辰（竜）です。十二  
支にはそれぞれ動物が当てはめられ

ていますが、竜だけが唯一実在して  
いない動物です。その姿は摩訶不思議  
で、水墨画では雲の台間から顔や  
手爪や鱗が描かれて、体全体は隠さ  
れており、より一層大きな存在とし  
て私たちの想像をかき立ててくれま  
す。天に登り雷雲を呼び雨を降らす  
ことから、日本では竜神様と呼ばれ  
水の神様としての信仰があり、強く  
農耕文化と結びついています。

今こそ愛知用水のお陰で私たち  
は干ばつの心配をしなくて済んでい  
ますが、過去には知多半島に一万を越  
すため池があつたように、水不足のた  
びに竜神様へ雨乞いを行っていたも  
のと思います。阿久比町が米作りに適  
していたのは、阿久比川を擁し田に水  
を引くことができたからではないで  
しょうか。そのように考えますと蛇行  
する阿久比川が竜に見えてきます。

## 景気

昨年は、震災により日本経済は大  
打撃を受けました。津波の破壊力が及  
び、部品の調達不足や電力不安など  
による生産の低下があり、小売や  
サービス業も消費の低迷により経済  
は冷え込んでしまいました。一方、  
世界経済ではユーロ圏の金融危機で  
円高が進み為替レートが最高値をつ  
けるなどマイナス要因が多くありま  
した。そのような中にあっても、我  
が国は震災復興を旗印に景気を持ち  
直しに努力を重ね、落ち着いてきま

した。私は、必ずや復興も景気回復  
もされるものと信じています。

町の発展と活力は、その町の人口  
動向が重要になってきます。昨年十  
二月一日現在で本町の人口は二万六  
千四百八十九人となり、現在も増加  
中であります。自然環境の良さと生  
活のしやすさが人口の増加要因と  
なっているものと思います。

循環バスの利用も当初予測よりも  
多く、好評をいただいています。よ  
り利用しやすい皆さまの公共交通と  
なるよう改善を進めてまいります。  
います。

新保育園建設は、現在造成工事を  
進め、今年には園舎建設に入り、平成  
二十五年の開園を目指します。

また、新庁舎建設に向けても着々  
と準備が進んでいます。間もなく建  
設基本構想が告示できる予定で  
すので楽しみにしててください。

住宅開発では、陽なたの丘の第二  
期造成工事が始まりました。新しい  
街が増えてくる光景は希望に満ちて  
おり、人口増加にも期待が持てます。

これからも『みどり』と共生する快  
適生活空間「あぐい」を目指して「安  
全・安心・安定」を基本に、ホテル  
と共生できる、利便性の良い快適な  
町づくりを進めてまいりますので、  
本年もどうぞよろしくお願ひ申し  
上げます。



# 復興



## 阿久比町議会議長 勝山 制

## 新年のごあいさつ

明けましておめでとございます。平成二十四年の輝かしい新春を迎え、謹んで皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

昨年、春の足音がようやく聞こえ始めた三月十一日に、誰もが経験したことのないような大きな揺れが東北地方を襲いました。マグニチュード9の大地震と想定外とも形容された巨大津波が、東北地方の沿岸部を中心に壊滅的な被害をもたらし、福島県の原子力発電所をも飲み込みました。その後の惨状は、連日報道されておられ、私が申すまでもありません。あまりに大きい被害から、この東日本大震災は戦後最大の災害といわれております。

この度の震災で被災された皆さまに謹んでお見舞いを申し上げます次第であります。

また、日本経済は、戦後最高値の円高に伴い輸出産業が特に大きな打撃を受け、ここ数年来の不況が益々深刻さを露呈しており、若者の就職難、生活困窮者の増大など、まさに日本は戦後最大の苦難な時であります。

しかし、東日本大震災での被災地への援助を「絆」を合い言葉に一致団結し、不安で過酷な生活を余儀なくされている方々に、物心両面から多くの人が支援を続けております。国民が日本人の名誉と誇りにかけて、日本復興のため大きな輪につながっ

た感があります。

私は、昨年8月に、被災された方々に少しでもお役に立てればという思いで、被災地へ足を運び、ボランティアの方々と一緒に汗を流してきました。

テレビや新聞の報道で、被災地の現状はある程度は理解しておりますが、現地の惨状を目の当たりにすると、思わず絶句したものです。

三月十一日の午後二時四十六分までは、街には人があふれ、職場ではいつも通りに人は働き、学校では子どもたちの明るい笑い声が飛び交っていたはずですが、それが、あの途方もなく大きな地震と誰も経験したことのない大きな津波で、街が、家が、学校が、会社が一瞬でその姿を亡くしたのであります。

また、多くの尊い命も奪われました。被災された方々の気持ちを思いやると、かける言葉すら見あたりません。私もボランティアの方たちもただひたすら、がれきの処理にあたるしかありませんでした。

東北地方の方は、とても我慢強いといわれています。私が現地でお会いした方々も努めて明るく接してくれましたが、日常の暮らしを突然奪われた苦しさは、経験した人しか理解できるはずがありません。「頑張っ

て」という言葉すらむなしく感じました。

一日でも早い復旧を心よりお祈りいたします。

さて、国においても、たくさんの難題を抱えており、先行きは全く混沌としております。解決すべき問題を先送りすることなく、しっかりと日本丸の舵取りを願うものです。

地方においても、社会経済環境の急激な変化や住民ニーズが多様化し、大変困難な時代に直面しております。阿久比町は財政状況が非常に厳しい中ではありますが、住民に一番身近な行政として地方分権時代にふさわしい自治体として、住民にきめ細やかなサービスを展開していかねばなりません。

町議会といたしましても時代を見据えた情勢分析に心がけ、町民の皆さまの視点に立った行政を目指し、町と切磋琢磨し、町民本意の町政運営に努力する所存であります。

阿久比町は、みどり豊かな住環境、そして優れた利便性を併せ持つ町に発展してきました。今後もみどり豊かな自然環境と調和した開発等を推進する、「阿久比らしさ」を前面に誰もが住みたくなる快適なまちづくりを目指さなければなりません。

昨年は、まさに苦難な一年でございました。しかし、ゼロからの出発とポジティブに捉え、復興を実現させましょう。

最後に、町民の皆さまにとりまして、すばらしい年になりますようお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。

# 大人への節目の式にしたい

「新成人に聞きました」

一月九日に勤労福祉センター（エスペランス丸山）で成人式が開かれます。成人式を盛り上げるために集まった「新成人の集い」実行委員会のメンバーに、打ち合わせ会議の場で、思いを聞きました。

「実行委員になった動機は  
「先輩がやって楽しかったと聞いたのでやってみようと思った」  
「友達に誘われて」  
「記念になると思ったので」  
「何事にも挑戦したいので」  
「一生に一度の式なので携わりたかった」

「どんな式（新成人の集い）にしたいですか  
「楽しい式にしたい」  
「みんなの記憶に残る式にしたい」  
「全員が来て良かったと思えるものにした」  
「久しぶりに会える友達とかもいて自分も楽しみなんで、来た人も楽しんでほしい」



「新成人の集い」実行委員会メンバー

「二十歳を迎え、大人といわれる歳になった心境は  
「実感がない」  
「十代と変わらない」  
「まだ子ども」  
「高校を卒業して社会人になったときに責任を自覚したが、二十歳を迎えたからといって変化はない」  
「十歳から二十歳になるまでの十年間はどつでしたか  
「十歳のときは成人した自分を想像出来なかったが、十年間は早かった」  
「小学生、中学生、高校生、大学生と立場がいろいろと変わり、出会い



打ち合わせ会議の様子

と別れの多い十年だった」  
「部活動に打ち込んだ時期で、当時は一日が長く感じていたが、今考えると充実していたと思うし、あっと言う間だった」

「十年後は三十歳を迎えますが、どんな人になっていきたいですか  
「小学校の先生になる夢をかなえていきたい」  
「保育士になって働いていきたい」  
「結婚して、子どもが三人くらいほしい」  
「地域や社会に貢献できる仕事をしたい」  
「言葉や行動に責任を持った大人になりたい」

今年成人式を迎えるのは、平成三年四月二日から平成四年四月一日までに生まれた皆さんです。阿久比町

## 新成人が生まれたときの出来事

平成3年6月	長崎県の雲仙普賢岳で大火砕流が発生
8月	東京で世界陸上選手権大会開催
平成4年2月	アルペールビル冬季五輪開催
3月	東海道新幹線「のぞみ」運行開始

阿久比町では、平成4年3月に阿久比中学校アザレアホールが完成しました。  
平成3年6月には、東部知多温水プールが完成しました。

では、二百十五人が対象となります。今回話を聞かせてくれた実行委員会のメンバーは、十一月から準備を進め、「新成人の集い」に訪れた皆さんが楽しいひとときが過ごせるようにと、学校や仕事が終わった後に集まっています。

まだ学生だったり、既に社会人となっていたりときまざまなメンバーがいます。二十歳を迎えて、いきなり大人の自覚や責任が出てくるものではないと思います。大人と呼ばれる歳になったけど、まだまだ子ども扱いを受けることも多いことでしょう。

実行委員長の紺野駿さんは「成人式を大人となる節目にしたい」と語りました。

町の未来を担う新成人が多く参加し、盛り上がる式になることを期待します。



# 愛知駅伝で見事5位

愛知万博メモリアル第6回愛知県市町村対抗駅伝競走大会（略称 愛知駅伝）が12月3日、愛・地球博記念公園（長久手町）で開かれました。阿久比町チームは、町村の部で第5位となり、4年連続入賞を果たしました。



阿久比町チームの皆さん

大会は、愛知県内の五十四市町村が参加して公園内の周回コース九区間二九・七キロメートルで行われました。市と町村の部に分かれて、小学生から四十歳以上の大人まで各年代で選抜された男女混成九人の選手たちがタスキをつなぎ健脚を競つたのです。

阿久比町は、十七チームが参加した町村の部で、昨年より一つ順位を上げ、見事第五位でゴール。

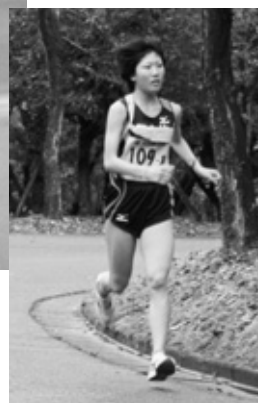
最終第九区を走った古川淳一さんは「小中学生と一緒に練習する機会もあり、チームの絆を感じる事ができました。走るのが好きという子どもたちが増えるきっかけになればうれしいです」と、第七区で区間三

位となる走りの古川千歩さんは「たくさんの方々の応援やサポートがあり、改めて人と人とのつながりの温かさを感じ、ありがとうございます」と語っていました。

鈴鹿敦監督は「目標の三位入賞はかないませんでした。選手達はよく頑張ってくれて四年連続入賞となりました。町民の皆さん応援ありがとうございました」と感謝していました。

阿久比町チームの皆さんお疲れさまでした。

詳しい大会結果は、ホームページ（<http://tokai-tv.com/ekiden11/>）で確認できます。



# オアシススケッチ

## ～まちの話題～

### ● 法務大臣表彰受賞を報告



表彰状を持つ小林さん(右)

保護司の小林正作さん(草木)が12月1日に町長室を訪れ、法務大臣表彰の受賞を報告しました。

小林さんは「皆さんの指導、協力で20年間保護司を務められ、今回の受賞となりました」と感謝の気持ちで話していました。

11月22日に稲沢市で開催された愛知県更生保護大会では、小林さんの受賞のほかに、前町保護司会会長の田中芳朗さん(宮津)も中部地方更生保護委員会委員長表彰を受賞しました。

### ● 駅伝大会で親睦を図る



アンカーを励まし一緒にゴールを目指す子どもたち

第21回阿久比町スポーツ少年団交流大会(駅伝大会)が12月4日に阿久比スポーツ村で開かれました。スポーツ少年団に所属する7団体から21チームが参加して行われ、子どもたちは寒風に負けず力いっぱい走り、次の走者へタスキをつないでいました。成績上位は次のチームです。

#### 高学年の部

優勝 少林寺拳法阿久比▽準優勝 阿東パワーズ▽  
第3位 阿久比バスケットボールクラブ

#### 低学年の部

優勝 A.F.C.AGUI-A▽準優勝 阿東パワーズ▽  
第3位 阿久比バスケットボールクラブ

### ● 電照菊の栽培技術を競う



ハウスで電照菊を見る審査員

電照菊を栽培する農家で作る阿久比花き組合による「電照菊ほ場共進会」が12月2日に開かれました。

13カ所の栽培場を回り、県知多農林水産事務所農業改良普及課やあいち知多農協組合の職員など6人の審査員が、花の付き具合や育成状況など栽培技術を審査しました。主な受賞者は次の皆さんです。(敬称略)

愛知県知事賞 竹内誠敏

阿久比町長賞 水谷悟

阿久比町議会議長賞 田中快計

阿久比町農業委員長賞 池田祥徳

### ● 落語で人権を考える



落語を披露する桂文喬さん(左)

人権教育推進事業講演会が中央公民館本館で12月4日、落語家の桂文喬さんを講師に迎えて開かれました。「人権落語～考えよう、言葉と人権～」とした演題で、前半は講話、後半は落語の構成で行われました。

人権に対する理解と認識を深め、差別意識の解消を図るための講演会。文喬さんは、集まった約120人の参加者を軽妙なおしゃべりで笑わせながらも、ときに真剣な口調で「子どもは大人をよく見ている。大人が見本を見せれば、子どもの意識が変わる」と語るなど、優しさ、思いやりの心について話しました。



# 最先端技術ハイブリッドの秘密を体験しよう —あいち・モノづくり体験授業—(町内4小学校)

全国へ発信 104

一貫教育プロジェクト

幼・保・小・中

11月15日号では中学校のキャリア教育の取り組みの一つである「あいち・出会いと体験の道場」(職場体験)の様子を紹介しました。前回もお伝えしましたが、愛知県では「あいちの教育アクションプランⅡ」(平成23年6月策定)の重点目標の2つ目にキャリア教育を掲げています。今回は、本年度から開始された小学校版キャリア教育「あいち・モノづくり体験事業」の様子を紹介します。



科学のおもしろさを語る竹内氏(手前)

事業のねらいは、地域のモノづくりの達人を招き、最先端技術の素晴らしさを知り、その開発に携わる人の技術や生き方に触れて、働くことや学ぶことについての基盤をつくることです。



電池・導線・木ねじだけでモーター作り?

デンソーサイエンススクール講師の竹内幸久氏を招き、理科の5年生単元「電流が生み出す力」に関連させ、最新の科学技術に通じる実験を体験しました。愛知県からの委託事業で、本来は各市町1校のみなのですが、講師のご厚意により町内4小学校すべてで実施することができました。どの児童も、熱心に講師の話を聞き、近未来の車の映像に目を輝かせたり、

夢中で実験に取り組んだりしていました。

中学校の「あいち・出会いと体験の道場」と小学校の「あいち・モノづくり体験事業」を関連させることで、体験を通したキャリア教育の一貫性に、いっそう厚みが増しました。

## □実施された日

- 11月8日(南部小学校)
- 11日(英比小学校)
- 18日(草木小学校)
- 22日(東部小学校)



磁石の性質を調べる



個別の指導も教師顔負け

## □授業内容

- ①電磁石を作ってゼムクリップを吸引
  - ②モーターの発明：振り子運動
  - ③単極モーターを作って回そう
  - ④最新モーター(ABSモーター)を見てみよう
  - ⑤発電機でモーターを回してみよう
  - ⑥不思議な現象を考察しよう 金属板をゆっくり滑る磁石の秘密
- ◆トヨタプリウスの最新技術
  - ◆世界で活躍できる人材へ：体の鍛練

□問い合わせ先 学校教育課 ☎(48)1111 (内202)

# まちの出来事



「ふれあいの森野外音楽会」  
7月23日



「町内全地区一斉避難訓練」  
8月21日



「阿久比谷虫供養」  
9月23日



「循環バス試行運行開始」  
10月1日



「第63回町民体育祭レクリエーション大会」  
10月9日



「第32回阿久比町みんなの菊花展」  
11月1日～6日

7月	
1日	まちづくり懇談会(～8月3日 町内10カ所)
3日	社会を明るくする運動大会・青少年健全育成推進大会
4日	町安全安心町民大会
10日	阿久比町農業委員会委員一般選挙
16日	町立図書館で「おたのしみかい」
23日	ふれあいの森「野外音楽会」
26日	小学生海外派遣事業でシンガポールへ児童15人を派遣(～31日)
8月	
16日	あぐいふれあい盆踊りの夕べ
16日	中学生海外生活体験事業でカナダへ生徒10人を派遣(～25日)
21日	町内全地区一斉避難訓練(防災訓練)
9月	
11日	敬老会
23日	阿久比谷虫供養(白沢地区)
28日	ダイヤモンド婚者・金婚者お祝いの会
10月	
1日	循環バス試行運行開始
2日	第14回福祉のつどい
9日	第63回町民体育祭レクリエーション大会
18日	親子ふれあい読書キャンペーン(～11月12日)
22日	第26回町民講座(勝谷誠彦さん)
23日	ゴミゼロ運動
24日	あぐい教育週間(～11月6日)
11月	
1日	第32回阿久比町みんなの菊花展(～6日)
3日	文化の日・文化協会式典
3日	8020運動表彰
5日	第60回文化祭(～6日)
6日	第24回健康まつり
15日	幼保小中高一斉あいさつ運動(～21日)
19日	第34回産業まつり(～20日)
12月	
3日	愛知万博メモリアル第6回愛知県市町村対抗駅伝競走大会阿久比町チーム町村の部5位入賞
4日	人権教育推進事業講演会(桂文高さん)



# 阿久比町の 1年間を 振り返る

# 2011年

1月
5日 第16回書初め大会
9日 消防出初式
9日 第25回風あげ大会
10日 成人式
23日 第33回健康づくりマラソン大会
2月
6日 愛知県知事選挙
22日 町内4小学校の児童が2分の1成人式
3月
12日 第15回阿久比町近郊リレーカーニバル
13日 町消防団観閲式
20日 「東日本大震災支援本部」を設置
4月
1日 第5次総合計画がスタート
3日 町消防団入退団式
10日 愛知県議会議員一般選挙
20日 ホタルの幼虫観察会（～21日）
24日 阿久比町議会議員一般選挙
5月
6日 東日本大震災の被災地へ職員を派遣（～14日、20日～28日）
19日 スポーツ村で町小学校陸上競技大会
6月
4日 花かつみ園一般公開（～19日）
5日 梅まつり
14日 観光協会設立総会
20日 幼保小中高一斉あいさつ運動（～24日）
20日 「ホタルと一緒に自然を守らナイト」（～7月10日）を実施
22日 ホタル生息分布調査（～7月1日）
24日 ほたる観察会（～25日）
26日 第34回町消防団消防操法大会



「書初め大会」  
1月5日



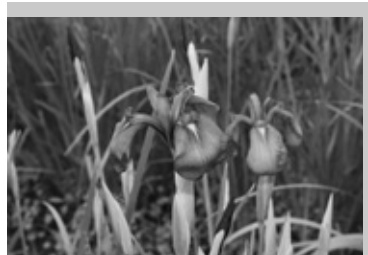
「成人式」  
1月10日



「健康づくりマラソン大会」  
1月23日



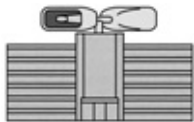
「2分の1成人式」  
2月22日



「花かつみ園一般公開」  
6月4日～19日



「観光協会設立総会」  
6月14日



## 行政無線情報は電話でも

防災行政無線が聞き取りにくい場合は ☎(48)7030 で確認してください。最新のメッセージを聞くことができます。

緊急地震速報とは、地震の発生直後に、震源に近い地震計でとらえた観測データを解析して震源や地震の規模（マグニチュード）を直ちに推定し、これに基づいて各地での主要動の到達時刻や震度を予測し、可能な限り素早く知らせる地震動の予報・警報です。緊急地震速報が発表

# 緊急地震速報を ご存じですか

# 防災への意識改革

173

安全で住みよい

まちづくり

ニュース

防災交通課 ☎(48)1111 (内208)



○強い揺れまでの猶予時間は数秒から数十秒

されたことが即座にわかるよう、テレビやラジオ、携帯電話などでは、専用の音（報知音）と共に緊急地震速報をお知らせします。

緊急地震速報を見たり聞いたりしたら、どのように行動すればよいのか家庭の場合について紹介します。

## 緊急速報「エリアメール」を導入

町では、9月1日からNTTドコモが実施しているエリアメールサービスを導入しました。このサービスは、町内にあるNTTドコモの携帯電話端末に対し、災害・避難情報を配信します。町民の皆さんをはじめ、町外から阿久比町にいられている方にも情報を提供できます。パケット料、月額使用料などの料金は無料です。

受信可能情報は、気象庁で発表される緊急地震速報、阿久比町から発信される災害情報や避難勧告などの情報です。

緊急速報「エリアメール」対応機種のうち、一部機種では端末設定が必要になります。詳しくはNTTドコモのホームページ (<http://www.nttdocomo.co.jp/service/safety/areamail/index.html>) でご確認ください。

□問い合わせ先

防災交通課 ☎(48)1111 (内208)

○緊急地震速報を見聞きしたときの行動

基本行動は、「周囲の状況に応じて慌てず、まず身の安全を確保することです。家庭内では自身の身を守るのが最優先です。

地震による強い揺れは、長くても一分程度ですので、その間は身を守る行動をとり続け、揺れが収まってから落ち着いて行動しましょう。家具の移動や転倒から身を守るため、

緊急地震速報のお知らせから強い揺れが来るまでの時間は、数秒から数十秒しかありません。内陸の浅い地震など震源の近くでは、強い揺れが先に到達する場合があります。

頭を保護し、丈夫な机の下などに隠れることが一番です。ほとんどの場合、揺れはすぐに来ますので、外に飛び出そうとすることはかえって危険です。

緊急地震速報を見たり聞いたからどうするかを考えることは、ほぼ不可能です。部屋の中で安全な場所を再確認し、家族で話し合っておくことが大切です。

気象庁のホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/EEW/kaisetsu/index.html>) もご覧下さい。詳しい解説などを掲載しています。



# みんなの童話

## 辰年たつねんは竜りゅうの年とし

「今年はお前の年だ。いい年にせえよ」、初詣でから帰って来たじいちゃん、竜神様のお守りとお年玉をくれた。お守りなんかどうでもいいが五千円はありがたい。

でも、いい年にせえって何だ、もっと勉強してはめられでもせよってことか、それなら無理なことごとくでもいいことだ。

そんなことよりぼくには知りたことがある。毎年、どうして卯(う)年だ辰年だってさわぐのかそれが知れたかった。だから母さ



んに聞いた。「辰はたつよ。卯年はうさぎ、辰はりゅう。何も変じゃないでしょ」って答えた。これじゃさっぱりわからん。

それなら父さんにと、ところが「干支(えと)のことか。それはむかしのこよみで年月日や時間を、子(ね)から亥(い)までを十二のけもので言い表わしたものだ。辰は竜のようにな」と言う。やっぱりよくわからん。

最後はじいちゃんに聞くしかない。なにしろ家ではいちゃん物知りだ。「そりゃ父さんの言うように、むかしは十二支のこよみを使っておったからな。年や時間だけじゃない方位も北は子(ね)、南は午(うま)、東は卯(う)」、西は酉(とり)と動物の名を当てたもんだが、動物園にもおらんもんが一つだけあるな、辰の竜だ」

「うん、見たこともないもんな」  
「そうだろ、竜は空想上の動物で中国の十二神将の一つだが、説明せりゃ難しいことだで、竜のことを少し話してやるうかな。さて竜

だが、体はへびやシシや鳥をいっしょにした動物で、角はシカ、耳はウシ、目はオニで胴(どう)はへびだが足は四本、ウロコがあって神通力も持ってる」

「じんつうりき……?」  
「そうだ、海や池の底に住んでて空を飛んだり、雨を降らせたり、人間にも化けれるんだ」

「ふ、へえ、人間にもや」  
「だからすがたは見えんが、どこぞにひそんどうるかもしれんぞな。は、は、は、は、じいちゃんはそう言うってわらったが、ぼくはどきっとした。竜はほんとにいるかもしれない。そう思ったからだ。

UFOや宇宙人を見た者もおるっていう、竜がいても不思議じゃない。竜なら何事だってできる。よし！ ぼくは決心した。

竜がいるならあそこだ。ぼくは竜神様の森へ走った。雑木林の奥にどろんとよごんだうす気味悪い池がある。ぼくも一人で来たことはない。でも今日はがまんた。

願い事を書いた手紙とお守りをくくり付けたつりざおをにぎりしめ、かれ木にかかれてじっと池を見つめた。

でもいくら待ってもすがたを見

せない。小雪がまい始め体が冷えてきた。強気の気持ちもゆるらいできた。ここにやいないかもしれんな、でもおつたら……、そう思ったらぞくぞくと体がふるえた。バジャツ、池で異様な音がした。

ひえーっ！ ぼくは悲鳴をあげて道へとび出した。男がつっ立っていた。うわーっ！ とっさにつりざおを男にほかりなげて走った。家に帰っても身ぶるいはとまらなかつた。でもあの男は竜の化身だと思ってる。だから願いはかなえてもらえる、そう信じた。

小雪をちらつかせていた空も、うそのように晴れあがっていた。ぼくは仙台の従兄(いとこ)からの年賀状を何度も読み返した。

『今年、災害のない年にしたいなあ』美しいかった松島の写真にそう書かれてある。

ぼくの思いもそうだ。でもどうにもできん、それで竜に手紙を書いたんだ。だけど考えてみれば、いい年にするために、ぼくにできることだつたのであるはずだ。神通力なんかなくなつてそれを見つけないんだ。よし、ぼくは胸をはって

思いつき新春の大き気を吸った。

寺沢正美

# お知らせ

## 精神障害者の家族 研修会を開催します

精神障害者と家族が地域でのよりよい生活を実現するために最新の知識を学びましょう。

□日時 一月二十三日(月)

午後二時～午後四時

□場所 東浦町福祉センター二階  
多機能室

□講演 「精神疾患の正しい理解とその対応」

□講師 寿康会大府病院長 岡田 寿夫氏

□申込期間 一月五日(木)～十九日(木)

□定員 五十人(先着順)

□対象 精神障害者のご家族

□申し込み・問い合わせ先

## 第5次阿久比町総合計画における「参画・協働の行動指針」

基本計画第3章・第6節 社会保障

○国民健康保険税は、納期限までに納付しましょう。

※「参画・協働の行動指針」とは、住民一人一人がそれぞれの立場でできることを示したもので、町民まちづくり会議から提案されたものです。

## パブリックコメント(意見募集)

町では、高齢者の保健・福祉および介護保険施策を総合的に推進するため、平成24年度から平成26年度までの3年を計画期間として「第5期阿久比町高齢者保健福祉計画(老人保健福祉計画・介護保険事業計画)の策定を進めています。計画策定委員会で審議を行い、高齢者保健福祉計画(案)をまとめました。この(案)について、パブリックコメントを実施し、広く皆さんから意見を募集します。

□募集案件名 第5期阿久比町高齢者保健福祉計画(老人保健福祉計画・介護保険事業計画)(案)

□公表方法 町ホームページに掲載および保険課介護保険係窓口で閲覧

□募集期間 1月5日(木)～2月3日(金)

□提出方法 案件名、住所、氏名、電話番号、意見を記入し、郵便(2月3日必着)、FAX、電子メールで提出または役場開庁時間内に直接保険課介護保険係窓口へ提出してください。様式は問いませんが、日本語でお願いします。なお、提出いただいた個人情報は、目的外に利用および流用しません。

□意見の取り扱い 提出された意見に対し、個別に回答しませんが、意見の概要と町の考え方をまとめ、町ホームページなどで公表します。

□提出・問い合わせ先 保険課介護保険係 ☎(48)1111(内228)

〒470-2292 阿久比町大字卯坂字殿越50

FAX (48)0229

電子メール kaigo@town.agui.lg.jp

パブリックコメントとは、町の基本的な政策を立案する過程で素案を公表し、住民の皆さんから広く意見を募集し、提出された意見などを考慮して町の意思決定を行うものです。また、意見などに対する町の考え方を公表します。

愛知県半田保健所健康支援課(こころの健康推進グループ)  
☎(21)33341

## アロマクラフト教室を開催

簡単にできるハーブクッキーや、ハーブとエッセンシャルオイルを

使ったせっけんを作ります。参加費は無料です。

□日時 二月五日(日) 午後一時～午後三時

□場所 愛知健康プラザ クッキングルーム

□講師 竹林まゆみ(AEAJ認定アロマ)

セラピーインストラクター)

愛知県薬剤師会会員

□定員 三十人(先着順)

□申し込み方法 氏名、年齢、住所、電話番号、FAX番号を明記してFAXで申し込みください。

□受付開始日 一月五日(木)

□申し込み・問い合わせ先

愛知県薬剤師会

☎052(2331)2261

FAX052(2331)2268

## 119番の受付場所が変わります

火災・救急などの119番通報は、現在半田消防署通信指令室で受け付けていますが、四月一日からは半田市内の「知多広域消防指令センター」で受け付けることとなります。指令センターは現在建築中で、知多半島五市五町の六消防本部が共同で運用します。

皆さんからの通報は、今と同じように電話をかけてください。通報は指令センターで受け付けますが、消防車や救急車は従来どおり各市町の消防署から出動します。システムのひとつとして「発信地表示システム」が取り入れられ、受け付け直後に災害現場の住所・番地が特定でき、今まで以上に素早い対応が可能となります。詳細は三月にお知らせする予定です。

□問い合わせ先 半田消防署通信指令室 ☎(21)0119



## 年始の公共施設などの休み案内

(1月1日～1月3日の期間の死亡届・出生届など戸籍の届出、火葬の利用手続きは、役場宿直室で受け付けます。)

○印は平常業務、■は休み

施設名	1月				
	1日(日)	2日(月)	3日(火)	4日(水)	5日(木)
阿久比町役場 ☎48-1111				○	○
保健センター ☎48-1111				○	○
中央公民館(※1) ☎48-1111					○
町立図書館 ☎48-6231					○
子ども総合支援センター ☎49-2550					○
勤労福祉センター(※2) ☎48-6644				○	○
ふれあいの森(※1) ☎48-8431					○
阿久比スポーツ村(※1) ☎49-2500					○
草木グランド(※1) ☎49-2500					○
白沢グランド(※1) ☎49-2500					○
板山グランド(※1) ☎49-2500					○
丸山公園(※2) (運動広場・テニスコート・武道場) ☎48-6644				○	○
半田斎場 ☎27-8700			○	○	○
阿久比町循環バス	運 休			○	○

(※1)の施設は、1月5日(木)午前8時30分まで予約システムでの予約を休止します。(空き状況の確認はできません。)

(※2)の施設は、1月4日(水)午前8時30分まで予約システムでの予約を休止します。(空き状況の確認はできません。)

**ごみ収集** (1月3日(火)まで休業します。)

◎各地区燃えるごみ収集日

☆福住・福住園高台・阿久比団地・板山・高根台・メイツ翼ヶ丘・白沢・白沢台・草木  
**▶ 収集開始日 1月5日(木)**

☆横松・萩・宮津・宮津団地・宮津山田・陽なたの丘・坂部・卯之山・阿久比・椋岡・矢口・高岡・植・大古根  
**▶ 収集開始日 1月6日(金)**

◎事業系ごみのクリーンセンターへの搬入について

**搬入開始日 1月4日(水)午前8時30分から**

◎1月の資源ごみ・燃えないごみの収集

次の地区は、通常の収集日と異なりますので注意してください。(1月のみ)

地区名	1月の資源ごみ・燃えないごみの収集日
坂部・卯之山	第2・第4月曜日(1月9日・23日)
阿久比・椋岡	第3・第5月曜日(1月16日・30日)

※「阿久比町ごみ分別収集カレンダー」を確認のうえ収集日以外にはごみを絶対に出さないでください。

**し尿くみ取り**

1月4日(水)まで休業します。年始は1月5日(木)から平常日程でくみ取りをします。

申し込みは、町指定のし尿くみ取り券取扱所でお早めにお願ひします。

□問い合わせ先 環境衛生課 ☎(48)1111(内310・317)

### 普通救命講習を開催

救命のための応急手当やAED(自動体外式除細動器)の使い方の講習を行います。

□日時・場所・定員

二月十二日(日)午後一時半～午後四時半・武豊町中央公民館・定員二十人(先着順)

二月二十三日(木)午前九時～正午・半田消防署・定員三十人(先着順)

□申し込み・問い合わせ先

知多中部広域事務組合消防本部

武豊支署 ☎(73)0119

半田消防署 ☎(21)1492

HA ☎http://www.cac-net.ne.jp/~chitachu/

### 緊急消防援助隊活動記録をホームページに掲載

平成二十三年三月十一日に発生した東日本大震災に際し、知多中部広域事務組合消防本部から緊急消防援助隊愛知県隊として延べ二十三隊、七十四人を派遣し、消火、救急活動などに従事しました。

この活動について「東日本大震災における緊急消防援助隊派遣記録」として取りまとめ、ホームページ(http://www.cac-net.ne.jp/~chitachu/)のNEWS欄に掲載しましたので、ご覧ください。

□問い合わせ先 知多中部広域事務組合消防本部総務課

☎(21)1490

FAX(22)7420

電子メール chitachu@cac-net.ne.jp

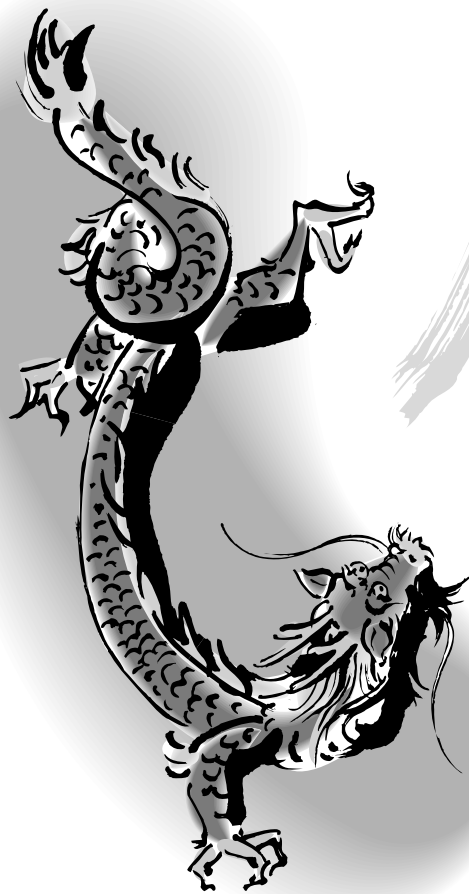
### 阿久比町短歌の会

雨も旅晴も旅なり人生の縮図のように今日も暮れゆく  
 日本で勤務を終えたブルートレインマレーシアの地で夢乗せ走る  
 待ちわびしブルーラインでアピタへの小さな旅す秋のひと日を  
 雨止みて清しき墓所に香を焚く亡き人憶う今日は命日  
 秋なかば敬老会も終りたり伊勢湾台風の記念日近づく  
 許すとか許せないとかそんな事どうでも良くて天空を見る

岡本 育与  
 橋立 智子  
 長坂吉余子  
 竹内 久恵  
 佐野 雄造  
 加藤かずみ

皇后の喜寿祝いつつ思うかなテニスコートの爽けき笑顔を  
 一つ覚え一つ忘れる齢となりふっと思ひ出す手毬唄など  
 夕寒し根深に土を寄せやれば冷気の中に凜と伸び立つ  
 夜道行く吾を見守るお月さま庭先までも連れ添いくれる  
 健康で旅の出来るを感謝する守りくるるか亡き父と母  
 六度もの波に吞まれし漁師町無念残りし高き堤防

山口 昇  
 山本さき子  
 竹内 清己  
 桃井 昌子  
 渡辺百合子  
 三留 享



あけまして  
おめでとう  
ございます

2012年も町の明るい話題や情報を満載して、読みやすく親しみの持てる「広報あぐい」を作っていきたいと思えます。皆さんご愛読ください。ホームページや役場庁舎東側に設置してある電光掲示板からも随時迅速に情報発信しますので、こちらもご覧ください。

今年もよろしくお願ひします。

広報編集スタッフ一同

阿久比町  
マスコットキャラクター



### 阿久比町民憲章

- わたしたち阿久比町民は、ここに町民憲章を定め、よりよい町づくりに努めることを誓います。
- ◎ホタル飛びかう、豊かな自然を守ります。
  - ◎歴史と伝統を守り、教養を高めます。
  - ◎スポーツに親しみ、健康で明るい家庭をつくります。
  - ◎オアシス運動をすすめ、笑顔あふれるまちをつくります。
  - ◎ボランティア活動に、すすんで参加します。



### 人口と世帯



世帯数	9,280 (+30)	11月中の異動	
人口	26,486人(+64)	出生 27	転入 128
男	13,089人(+39)	死亡 19	転出 72
女	13,397人(+25)		
( )は前月との増減数		平成23年12月1日現在	



■発行/阿久比町(〒470-2292 愛知県知多郡阿久比町大字卯坂字殿越50 ☎0569-48-1111) 編集/総務部企画財政課

■阿久比町ホームページ <http://www.town.agui.lg.jp/>  
資源を大切に!この用紙は再生紙を使用しています。

広報あぐいを声の広報ボランティア「あいうえお」がCD録音しています。ぜひご利用ください。

■問い合わせ先 阿久比町社会福祉協議会・ボランティアセンター ☎(48)1111